

令和4年度予算案が令和4年第2回日南町議会定例会で審議され、最終日の3月24日に可決されました。

### 歳入では

町税は総額4億3,601万円で、対前年1,465万円の減収を見込みました。個人町民税は、米価下落等に伴う農業所得の影響は避けられない見込みです。地方交付税のうち普通分は、人口減少の中にあっても、国の予算により地方一般財源総額の前年度同一水準並み確保ルールが継続されたことにより、対前年度1億3,000万円の大幅な増額を見込みました。国庫支出金の総額は4億5,882万円で、そのうち新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、5,558万円を計上しています。県支出金の総額は8億4,651万円となりました。ふるさと納税寄附金については、令和6年度に1億円達成を目指して、令和4年度は目標寄附額8,000万円を掲げて更なる推進を図ります。限られた財源を大切に、有効に活用していきます。

### 歳出では

地域活動を支援していくため、新たに地域活動支援交付金を新設するほか、令和4年4月にスタートした新法人とともに、移住定住対策の更なる推進を目指します。

農林業では、引き続きがんばる農家プラン支援事業等を継続するとともに、新たな取り組みとして、コロナ禍による米価下落の影響を受け経営が悪化した水稻農家の営農資金を支援します。加えて、老朽化したトマト選果機を更新し、町の基幹品目としてのトマトの安定的な生産と供給により、農家所得の向上を図ります。

今年度から認定こども園「にちなん<sup>といる</sup>十色」がスタートしました。教育・保育事業の更なる推進を図るとともに園児の主体性や学ぶ力の基礎を育みます。そして園・小・中が連携して、地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）を推進します。

### 特別会計

国民健康保険特別会計における国保税は据え置き、引き続き健診の受診率アップに向けた取り組みを行います。また、介護保険、介護サービス事業、後期高齢者医療特別会計においても、利用される町民のみなさんが安心して生活を送れるよう、安定運営に努めます。再生可能エネルギー発電事業会計は、新石見小水力発電所の安全かつ安定的な運営を目指し、簡易水道事業会計及び下水道事業会計は、更なる経営の安定化を目指します。病院事業会計については、PCR検査やコロナワクチン接種などへの対応等、地域医療の核としてサービスの向上に努めます。

## ★町民1人あたりが受けるサービスに換算すると (合計1,612,130円)

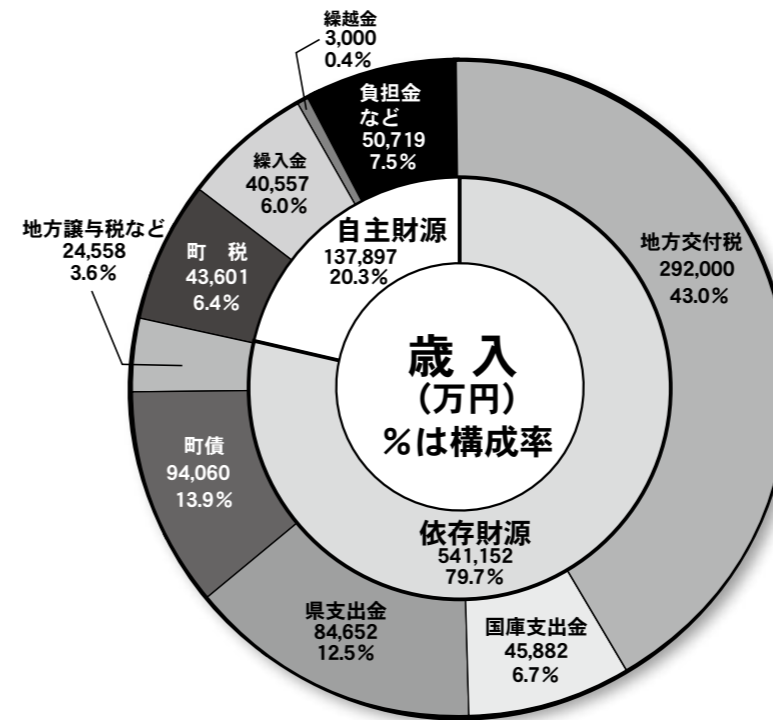
(令和4年3月末の人口4,212人で換算)

<b>議会費</b> 16,464円 議会の活動や運営などに使います。	<b>総務費</b> 279,237円 町全体の管理・運営に使います。	<b>民生費</b> 259,122円 高齢者や身体障がい者など、福祉の充実に使います。	<b>衛生費</b> 229,690円 ごみ処理や、環境対策などに使います。
<b>土木費</b> 133,760円 町道や河川などの改良や整備に使います。	<b>消防費</b> 39,668円 消防対策や災害の防止、復旧に使います。	<b>教育費</b> 114,420円 教育環境の整備や充実、社会教育の推進に使います。	<b>災害復旧費</b> 21,249円 万が一、災害が起こったときの復旧に使います。

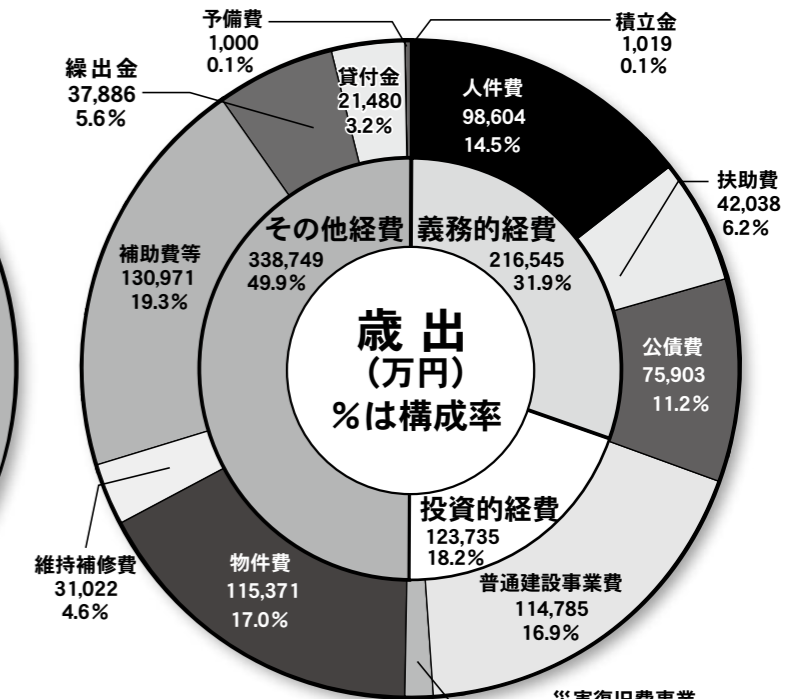
# 令和4年度当初予算 成立 総額103億4,506万円

(特別会計・企業会計含む)

## 一般会計歳入 67億9,029万円



## 一般会計歳出 67億9,029万円



## 特別会計・企業会計 35億5,477万円

特別会計名	当初予算額 (万円)
国民健康保険事業	61,969
介護保険事業	89,949
介護サービス事業	5,832
後期高齢者医療事業	10,480
再生可能エネルギー発電事業	1,202
簡易水道事業 (収益的収支)	15,056
簡易水道事業 (資本的収支)	9,505
下水道事業 (収益的収支)	16,412
下水道事業 (資本的収支)	8,972
病院事業 (収益的収支)	121,319
病院事業 (資本的収支)	14,781

特別会計・企業会計の総額は35億5,477万円で、日南病院の運営をはじめ国民健康保険事業や上下水道事業など町民の暮らしに密着した事業を行います。

<b>農林水産業費</b> 310,709円 農林業の振興や、鳥獣被害対策などに使います。	<b>商工費</b> 25,230円 商業や工業、または観光振興に使います。
<b>公債費</b> 180,207円 町の借金の返済などに使います。	<b>予備費</b> 2,374円

※令和4年度主要事業については「2022町政のしおり」(「広報にちなん6月号」と共に配布予定)に掲載します。